

PROFIT FILTER ver. Z-2

○大切な飼育魚のためにも、必ず一日一度は、フィルターが正常に作動しているか確認を行ってください。
○本製品をご使用される前に、必ず本書をお読みください。

重要

プロフィットZは製造年の違いにより2種類のバージョンがあり、それによりパーツも2種類あります(一部はバージョン共通)
パーツご購入後はバージョンにあったタイプを装着してください。



コトブキ工芸パーツ専用通販サイト

取扱説明書

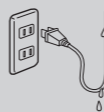
この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください。

警告

- 本製品はプラスチック製です。落とすと割れる場合がありますので、取扱には注意してください。
- 電源は100V(一般家庭用電源)を守ってください。また、電源はタコ足配線にならないようにしてください。火災や感電事故の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。火災や感電事故の原因になります。
- 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていなかったり、ほこりなどが積もっていないか定期的に点検してください。放置すると、感電や火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに接続した状態では、絶対に水槽内に手を入れないでください。水槽に手を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電事故の原因になります。
- 万一機器から煙が出ていたり、異臭や異音があるなどの異常があるときは、ただちにコンセントから電源プラグを抜いて、ご使用を中止してください。その後、お買い求めになった販売店、または当社までご連絡ください。異常状態でのご使用は、火災や故障の原因になります。
- 水槽よりも低い位置の電源コンセントは使用しないでください。やむを得ず水槽より低い位置でご使用になる場合は、右図のように必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにしてください。感電や漏電事故の原因になります。
- 本製品は屋内で使用する観賞魚用です。それ以外の用途では使用しないでください。また、屋内であっても風呂場や洗面所など湿度の高い場所では使用しないでください。感電や故障の原因になります。
- 本書で指示のない箇所の分解や、修理、改造は絶対にしないでください。けがや故障、火災の原因になります。



安全にお使いいただくために

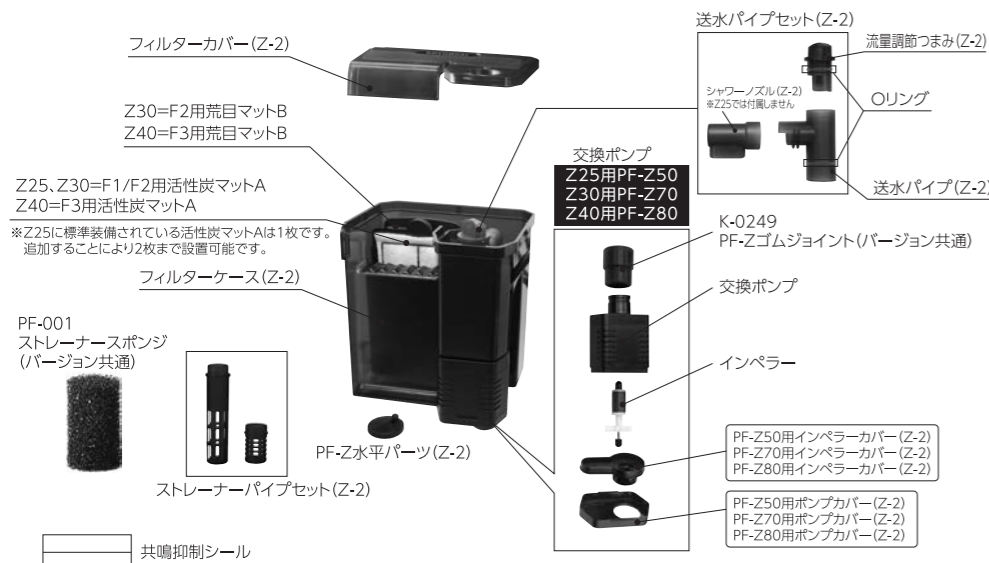
必ずお読みください。

注意

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に物をのせたりしないでください。また、電源コードは、出荷時の束ねた状態では使用しないでください。火災や漏電事故の原因になります。
- 観賞魚の飼育に適さない汚濁した異常水質の水や、観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽では使用しないでください。故障の原因になります。
- 引火性のもの(シンナー、ガソリン、ベンジンなど)の近くでは使用しないでください。爆発や火災の原因になります。
- お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品を使用しないでください。万一それらが付着したときは、十分に拭き取ってからご使用ください。シンナーや洗剤などは本製品だけでなく、魚や水草にも有害です。
- 水槽に海水または人工海水を入れてご使用になる場合は、電源プラグに海水がかからないように注意し、万一塩分が付着しているときは、ただちにきれいに拭き取ってください。塩分が付着した状態で放置すると、火災や漏電事故の原因になります。
- 大型魚を飼育する場合は、毎日、取付け状態が正常か確認してください。ストレーナーに魚が当たったりすると、フィルターが外れて、室内を濡らす恐れがあります。
- 本製品は40℃以上のお湯の中では使用しないでください。また、ストーブなどの暖房器具の近くでも使用しないでください。機器が変形して、故障の原因になります。
- 底砂にあまり細かな砂を使用しますと、ストレーナー部から砂を吸い上げ、ポンプのインペラー部に砂が詰まる場合があります。あまり細かな砂の使用はさけてください。
- 大切な飼育魚をトラブルから守るためにも、ストレーナー部等、定期的に掃除してご使用ください。
- 初めてご使用になられる際、まれに油が浮く場合がありますが、生体には無害ですので、そのままご使用ください。
- 本製品の水中ポンプは、必ず水中で作動させ、水中ポンプよりも水位が上になるようにしてください。また、空運転をしないでください。故障の原因になります。
- 本製品のフィルター本体内にヒーターなどの保温器具は絶対に入れないでください。火災の原因になります。

オゾン発生装置や殺菌灯などを使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させ、故障の原因になります。

各部の名称



仕様と性能について

品名	プロフィットフィルターZ25	プロフィットフィルターZ30	プロフィットフィルターZ40
循環ポンプ	交換用ポンプ PF-Z50	交換用ポンプ PF-Z70	交換用ポンプ PF-Z80
定格入力	AC100V 50/60Hz		
定格消費電力	5/4W	6/5W	8/6W
ポンプ流量	約4.2/5ℓ	約6/7ℓ	約7.5/8.5ℓ
適応水槽	40cm	40cm	45cm
水容量	25ℓ	30ℓ	40ℓ
対応水槽枠幅	約1.6cmまで対応	約2cmまで対応	約2cmまで対応

こんなときは

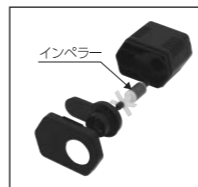
■故障かなと思うまえに、以下のことを確認してみてください。また、故障と思われることでも、正常に機能している場合もあります。

症状	考えられる原因	対策・処置
吐出量がいつもと比べて少ない。出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレーナースポンジやマットが目詰まりしている。 ●ストレーナーやパイプに汚れが溜まっている。 ●インペラー部に異物が詰まっている。 ●モーターを1年以上使用している。 ●送水パイプセットが正しくセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掃除、または交換してください。 ○掃除する。 ○掃除する。 ○交換してください。 ○正しくセットする。
水中ポンプが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●インペラー部に異物が詰まっている。 ●水位が低すぎる。 ●ストレーナーの下でエアレーションをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグを差し込む。 ○掃除する。 ○水中ポンプよりも上に水を入れる。 ○ストレーナーに空気が入り込まない位置でエアレーションする。 ○掃除する。 ○一度電源プラグを抜き、差し直す。
ポンプから異音がある。	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレーナーにゴミが付着している。 ●水中ポンプ内に空気がたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掃除する。 ○一度電源プラグを抜き、差し直す。
ポンプから異音がある。	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプを1年以上使用している。 ●インペラーが劣化している。 ●水位が低すぎる。 ●インペラー部に異物が詰まっている。 ●水中ポンプ、PF-Zゴムジョイントが正常にセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポンプを交換してください。 ○ポンプを交換してください。 ○水中ポンプよりも上に水を入れる。 ○掃除する。 ○奥までまっすぐ差し込む。
水漏れがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターケース部が破損している。 ●流量調節つまみのOリングが劣化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交換してください。 ○送水パイプセットを交換する。
PF-Zジョイントゴムがヌルヌルする。	<ul style="list-style-type: none"> ●バクテリアが付着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特に水質、生体に影響ありませんが、洗浄する。



水中ポンプは必ず水中へ!!

水中ポンプは、必ず水中で作動させてください。水中ポンプよりも水位が上になるようにしてください。水の蒸発にも注意して、必ず1日1度は、水位の確認をしてください。



ポンプ内の掃除が必要です!!

最低1ヶ月に1回はポンプ内の掃除をしてください。インペラーにゴミや汚れが付着すると流量の低下や異音、ポンプが停止する原因となります。

プロフィットフィルター Z25 / Z30 / Z40 保証書

SAMPLE

- お買い上げいただいた日から、淡水でのご使用の場合は1年間を保証期間、海水または人工海水でのご使用の場合は6ヶ月を保証期間とし、この期間内に正常な使用状態において故障、および損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容にもとづいて無償修理いたします。なお、製品の割れおよび傷、消耗部品の摩耗は保証の対象外になります。
- 保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。
 1. 誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。
 2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
 3. 不当な修理や改造による故障、および損傷。
 4. 日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
 5. 砂や異物の吸い込みによる故障、および損傷。
 6. 家庭以外(船舶や車両などへの搭載)で使用されたことによる故障、および損傷。
 7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷。
 8. 観賞魚用水槽以外で使用したことによる故障、および損傷。
 9. 異常水質による故障、および損傷。
 10. オゾン発生装置や殺菌灯などの使用によるゴム・樹脂パーツの劣化、および損傷。
 11. 観賞魚用薬品以外の薬品を入れたことによる故障、および損傷。
 12. 指定以外の電源(電圧、周波数)による故障、および損傷。
 13. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天変地変による故障、および損傷。
 14. 魚類など生物の死亡、病気、および水草の枯れ。
 15. 本保証書の提示がない場合。
 16. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。
 17. 本保証書の字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
- 保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。
- 保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN.

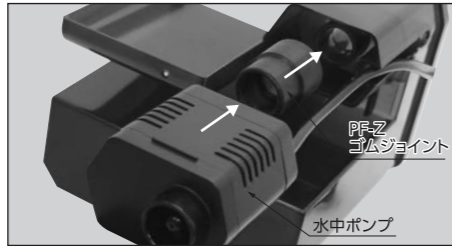
この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

取付け方

●ご使用前にフィルターケース等に割れなど破損箇所が無い必ず確認してください。水漏れの原因になります。

(1) フィルターケースに水中ポンプを取り付けます。

※水中ポンプ→PF-Zゴムジョイント→フィルターケースの順に取り付けます。
※PF-Zゴムジョイントは太い部分がフィルターケース側にくるように取り付けてください。



(2) コードホルダーへ水中ポンプの電源コードを装着します。コードの平たい形状の細い面からコードホルダーのストッパーに通します。



⚠コードは必ずコードホルダーに通してください。(振動によるポンプのズレを防止します。)

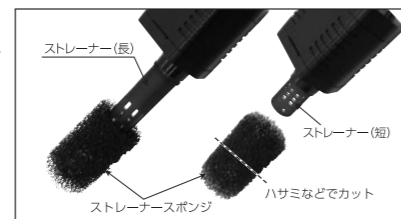


(3) 水中ポンプにストレーナーを取り付けます。水槽の深さに合わせて、右図のように選択してください。



(4) ストレーナーにストレーナースポンジを取付けます。短い方のストレーナーをご使用の場合はストレーナースポンジを適度な長さにカットし、ご使用ください。

※細かい砂利をご使用の場合は、砂利を吸い込み、水中ポンプの故障の原因となりますので、必ずストレーナースポンジを取付けてご使用ください。



フィルターケースの掃除

(1) 荒目マット、活性炭マットの2種類のマットを外します。

※Z25の場合は活性炭マットのみです。

(2) 水をすてて空にしたフィルターケースの内側をやわらかいブラシや布等で、水洗いします。

(3) フィルターケースの外側を乾いた布でふきとります。

(4) 掃除が終わりましたら、もと通りに組み立ててください。



水中ポンプの掃除

水中ポンプのお手入れ

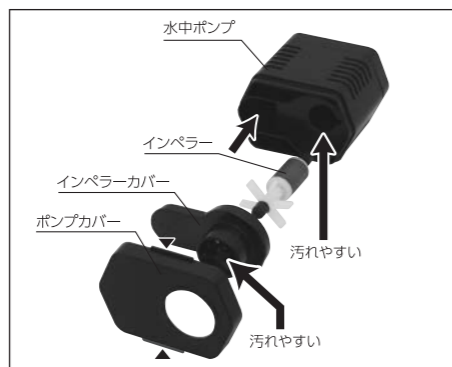
■水中ポンプは汚れた水をろ過槽へ運ぶために動いていますので、徐々に汚れが水中ポンプ内部につまり、回転が止まるといった事もあります。それを取り除く事でまた正常に回転が戻りますので、掃除は定期的に行ってください。

(1) ▲の出っ張りを指にかけてポンプカバーを外し水中ポンプを図のように分解します。

(2) ポンプ本体や、取り外した部品をパイプブラシなどで、よく掃除します。(特に汚れやすい部▲は良く洗いましょ)

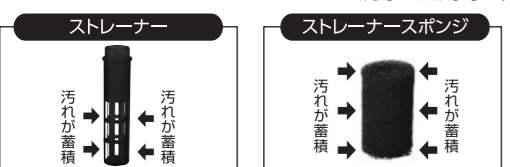
※Z30、Z40はインペラシャフトゴムの紛失にご注意ください。

(4) 掃除が終わりましたら、もと通りに組み立ててください。



ストレーナー(ストレーナースポンジ)のお手入れ

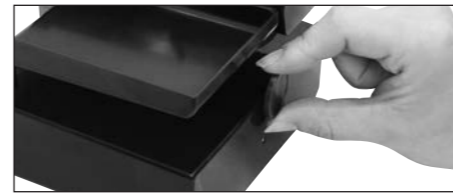
ストレーナースポンジとストレーナーの洗浄は定期的に行ってください。



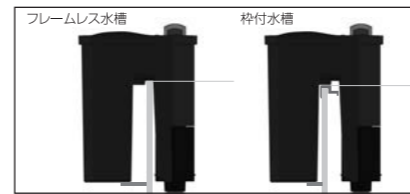
⚠●ストレーナースポンジや吸水ストレーナーに付着したゴミや汚れ(腐敗した水草や魚の排泄物、エサの残りなど色々な汚れが蓄積していきます。)は定期的に取り除いてください。流量の低下や水中ポンプの故障の原因となります。

取付け方/水槽への設置

(5) フィルターケース底面の穴に水平パーツを本体に対して垂直に指で押し込んでください。

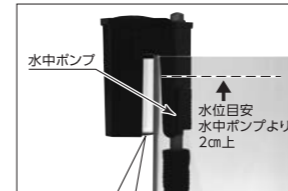


(6) 送水パイプセット及び水中ポンプ等が正しくセットされているか確認し、フィルター本体を水槽フレームもしくは最上部(フレームレス水槽の場合)に、右図のように水中ポンプが水槽の内側にくるようにセットします。



(7) 付属の活性炭マット、荒目マットを取り出し水道水で軽くすすいだ後、再度フィルターケースにセットします。
※ポンプを動かすと、多少活性炭マットの黒い水が流れることがありますが、生体に悪影響はありません。

(8) 水中ポンプの約2cmを目安に水位がくるように水槽に水を満たしたら、電源プラグをコンセントに差し込みます。ポンプが稼働してストレーナーから水を吸い上げ、フィルターマットでろ過された水が、水槽内へと流れ出します。



●水槽よりも低い位置の電源コンセントは使用しないでください。やむを得ず水槽より低い位置でご使用になる場合は、必ず水滴まわりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにしてください。感電や漏電事故の原因になります。

※水平パーツはフィルター本体を水槽に対して水平に保つパーツです。水平になるように回転させて微調整してください。

■設置後の注意

水槽内の水は徐々に蒸発します。水位の低下にご注意いただき、水中のポンプが完全に水没する水位を保ってください。

【初期水中ポンプ作動音について】

作動初期において、ポンプの作動音が大きい事がありますが、5分程度で正常な作動音になります。特に製品の不具合ではございません。

ろ材の交換

F1/F2用 活性炭マット(白)

■活性炭マットは、長期間使用しますと活性炭効果が弱くなります。2~3週間に一度は、交換するようにしてください。

F2用 荒目マットB(黒) ※Z25の場合は活性炭マットのみです。

■マットをレールから外し、飼育水をバケツなどに汲み取ったものか、カルキを中和した水でもみ洗いしてください。



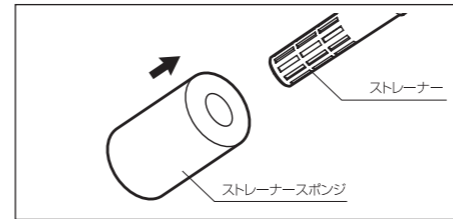
※荒目マットは、もみ洗いして、再度使用できますが、目詰まりが進むと、ろ過能力がおちてしまいますので、月に一度は交換するようにしてください。

※ろ材のレールの差し込みが固い場合がありますが、セット時はレールに沿って下までしっかり差し込んでください。

ストレーナースポンジ PF-001

■目詰まりしてくるとフィルターの流量が少なくなる事がありますので、2週間に一度は飼育水をバケツに汲み取ったものか、カルキを中和した水でもみ洗いしてください。

※汚れがひどくなってきたり、スポンジが傷んできたらフィルターの流量が少なくなりますので、新しいストレーナースポンジPF-001と交換してください。



送水パイプ/水中ポンプの取り外し

■1ヶ月に1回は、次の手順でお手入れをしてください。

●掃除をするときは、洗剤、シンナー、ベンジン、金属ブラシ等は、絶対に使用しないでください。

(1) 電源プラグをコンセントから抜きます。フィルターカバー、送水パイプセットを外します。

●送水パイプが固くて外しにくい場合は、図のように流量調節つまみを外した穴に指を入れ、持ち上げる様を外します。

(2) 次に水中ポンプをフィルターケースから外します。

●図のようにフィルターケースと水中ポンプを掴み外します。

水中ポンプの電源コードをコードホルダーから外すにはコードの平たい形状の細い面からホルダーの外側に出します。その際、コードをつまんでポンプ側に押し出す様にして外してください。

※コードは逆方向に無理に引っ張り出そうとすると被覆に亀裂が入る恐れがありますのでご注意ください。

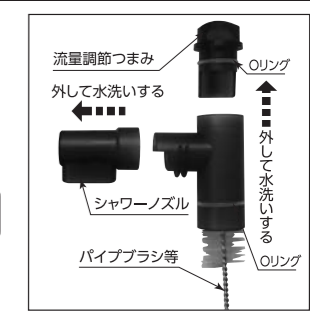


送水パイプ掃除

(3) 送水パイプセットは図のように流量調節つまみ、シャワーノズルを外し、水洗いしてください。パイプ部分はパイプブラシ等を使って水洗いすることをおすすめします。

(4) 掃除が終わりましたら、もと通りに組み立ててください。(流量調節つまみはしっかり奥まで差し込んでください)

●Oリングは消耗部品です。Oリングが劣化すると空気を吸い込み、異音や流量低下、水の伝い漏れの原因となります。送水パイプセットを交換してください。

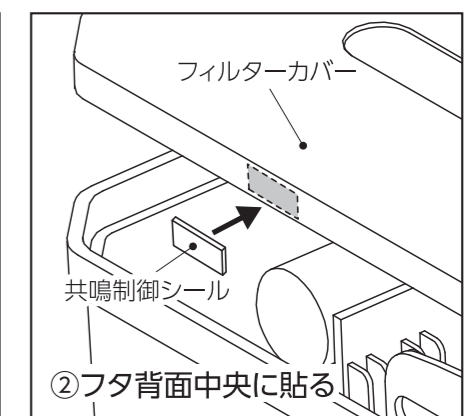
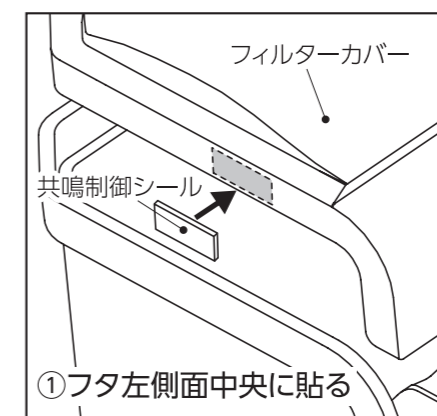


9

その他

【共鳴抑制シール】

ポンプの作動によりフィルターカバーから振動音が出る場合があります。添付の共鳴制御シールを下図の位置に貼る事で静音性を保つ事が可能です。お掃除の際には剥がさないように注意してください。



【水中ポンプの設置について】

コードは必ずコードホルダーに通してください。(振動によるポンプのズレを防止します。)

